戦略拠点

駿台グループの「小中学部」

難関高合格へ先取り学習

大手予備校「駿台予備学校」を運営する駿河台学園グループは札幌市内で主に小中学生を対象とした学習塾「駿台小中学部」を展開している。私立の中高一貫校が比較的少ない札幌で主な志望校は「トップ4」といわれる市内の公立高校だ。個別指導と集団授業をミックスして、児童・生徒の学力アップに努める。

学習塾「駿台小中学部」を手がける駿台教育研究（札幌市）は1993年に駿台グループに入った。北海道大学の学生などを講師として集め、札幌市内で5校舎展開する。

札幌圏は受験が必要な中学校は少なく、転勤族の子どもらを除くと小学生向けのコースで人気を集めているのは「駿台トップ4Jr.コース」という札幌南、札幌北、札幌東、札幌西の公立4高校の受験を見据えた先取り学習のコースだ。小学6年生の11月から本格的に中学校の範囲に入っていき英語も学び始める。英検受験を目指して、さらに前倒しで英語を学ぶ児童も少なくない。

駿台小中学部に通う中学3年生の6割はこの4高校のいずれかを第1志望としており、トップ4志望者の合格率は例年9割前後を維持する。本部事務局運営統括の田村模輝氏は「小学生から受講し始めた方が合格率は高い傾向にある」と先取り学習の効果をアピールする。

個別指導は習熟度に応じて積極的に先取り学習を進められる。学費は90分の指導を週1回受ける場合で月2万円強と決して安くないが、上位校を志望する学生やその家庭からの注目度は高い。他の集団授業型の学習塾と併せて通塾し、個別指導で苦手な教科を学ぶという児童・生徒も少なくない。

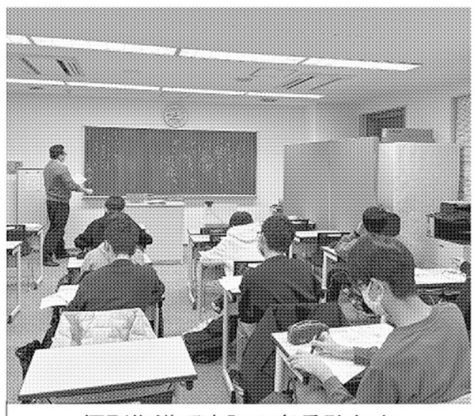
そんな駿台小中学部で、大学受験の豊富なノウハウがある集団授業を強化する動きが進む。5校舎の中でも特に難関校志望者を多く抱える「北大前本部校」で7月から開講しているのが受験を控える中学3年生向けの「駿台スーパー数学講座」と「駿台スーパー数学＋α講座」だ。

前者はトップ4への確実な合格、後者はトップ4の中でも難関の札幌南、札幌北の両校への上位合格を目指す集団授業の講座で、大学受験生向けに駿台予備学校札幌校で指導してきた人材が講師を務める。「集団で生まれる競争意識や刺激を生かして学力を高めていく」（田村氏）

24年4月からは中学生の全学年を対象に数学・国語・英語の集団授業を開講する。対象となるのは札幌南、札幌北高校へのトップ合格を狙う生徒や、転勤族の親を持ち首都圏などの難関高校を目指す生徒だ。教科ごとの得意不得意に応じて個別指導と集団授業を組み合わせる受講スタイルを想定する。

集団授業の強化に向け活用するのは、グループがアジアや欧米の約20都市で主に日本人駐在員の子を対象に展開する塾での勤務経験を持つ人材だ。新型コロナウイルス禍の影響やライフステージの変化などを受け日本への帰国を希望する講師らを、駿台小中学部で受け入れる。

個別指導の受講生が一部、集団授業へ移行していけばその分、駿台小中学部全体の生徒数を増やせる。足元、5校舎合計で500人強の利用者を、「600人規模まで増やしていく」（田村氏）考えだ。（高尾泰朗）



個別指導で定評のある駿台小中学部が集団授業の講座を強化している（11月、札幌市）

駿台教育研究の概要	
所在地	札幌市
ブランド名	駿台小中学部
拠点数	市内5教室
特徴	主に小中学生向けの個別指導。高校生向けコースも
	道内随一の難関校、札幌南高校など上位校志望者が多く在籍
	グループの海外校の人材などを活用しながら集団授業も強化

掲載日 2023年12月07日 日本経済新聞　地方経済面 北海道 © 日本経済新聞社 無断複製転載を禁止します。

許諾番号30096803　日本経済新聞社が記事利用を許諾しています。